

寄附金のご案内

受入れ口数	個人の寄附者の方	一口 10,000円
	法人・団体の寄附者の方	一口 50,000円

※寄附者のお名前等をホームページに掲載します(ご承諾いただいた方)

本基金の趣旨をご理解の上、
出来るだけ複数口でのご支援を
お願いいたします。

■金融機関からのお振込み

同封の「振込用紙」をご利用ください。
振込用紙に必要事項をご記入の上、指定銀行またはゆうちょ銀行においてお手続きをお願いいたします。
その他の金融機関でのお手続きも可能ですが、その場合の振込手数料はご負担願います。
また、銀行ATMや岐阜大学基金HPを経由しないインターネットバンキングをご利用される場合は、寄附申込書をご記入の上、岐阜大学 Development Officeへご連絡いただきますようお願いいたします。
ただし、ゆうちょ銀行での「振込用紙」による振り込み機能付きATMはご利用いただけます。
※寄附申込書は岐阜大学基金ホームページにてダウンロード願います。

■インターネットによるご寄附

インターネットによるお手続きでは以下のご利用が可能です。

・クレジットカード決済 ・コンビニ決済 ・ペイジー決済(インターネットバンキング)

岐阜大学基金HPまたは下記QRコードからアクセスいただき、寄附の手続きをお願いします。

岐阜大学基金

インターネットによる寄附手続き

<https://www.gifu-u.ac.jp/fund/>



<https://www.gifu-u.ac.jp/fund/net.html>



■税法上の優遇措置

ご寄附いただいた寄附金については、税法上の優遇措置があります。
ご入金を確認後に本学からお送りする「寄附金領収書」を控除証明書として利用いただき確定申告によりお手続きをお取りください。
詳細は下記URLまたはQRコードからご覧ください。

<https://www.gifu-u.ac.jp/fund/zeiyugu.html>



■寄附金に関するお問い合わせ

岐阜大学基金の詳細については、ホームページをご覧ください。 <https://www.gifu-u.ac.jp/fund/>

岐阜大学Development Office 〒501-1193 岐阜大学柳戸1-1

Tel: 058-293-3276 Fax: 058-293-3279 Mail: kikin@t.gifu-u.ac.jp

お問い合わせ

岐阜大学大学院医学系研究科・医学部／岐阜大学医学部附属病院
〒501-1194 岐阜県岐阜市柳戸1番1
TEL.058-230-6000(代表)

岐阜大学病院

検索

<https://www.hosp.gifu-u.ac.jp>



MAKE NEW STANDARDS.
東海国立
大学機構

岐阜大学

岐阜大学医学部創立80周年
岐阜大学医学部附属病院創立150周年

記念事業趣意書
「いのち輝く岐阜」

Gifu
University
School of
Medicine

80TH

150TH
Anniversary

Gifu
University
Hospital



岐阜大学医学部創立80周年・岐阜大学医学部附属病院創立150周年 記念事業の趣旨をご理解の上、寄附金へのご協力をお願いいたします

岐阜大学医学部創立80周年へのご支援のお願い 岐阜大学大学院医学系研究科長・医学部長 山口 瞬

岐阜大学医学部の原形である岐阜県立女子医学専門学校が1944年(昭和19年)4月に開設されてから80年が経ちます。この間、名称変更や大学院の開設、国立への移管、看護学科の設置、市町から柳戸への移転、東海国立大学機構の発足など、さまざまな変遷を経てきましたが、岐阜大学医学部(医学系研究科)は、一貫して優れた医療人・医学研究者の育成と優れた研究成果の発信に努めてまいりました。そして岐阜大学医学部(医学系研究科)は、岐阜を中心とする地域医療において中核的な役割を果たすとともに、医学研究においても大きな存在感を示してきました。これらは、岐阜大学に在籍された方々や在籍中の方々、そのご家族、地域の皆様、企業や医療施設の方々など、多くの方々のご努力とご支援無しには成しえなかったものです。関係された皆様には改めて深く感謝を申し上げます。創立80周年を迎えて、岐阜大学医学部(医学系研究科)は、これまでの歴史と実績をふまえつつ、地域と世界の医療・医学にますます貢献できるように全力を尽くすことを改めて決意しております。岐阜の人々の命と健康を守り、岐阜から世界に向けて優れた医療・医学研究を発信するとともに、医療・医学の最前線で活躍する医師・看護師・研究者を育成してまいります。これらを実現していくためには、先進的な教育プログラムと最新の設備、そして優れた研究環境が必要不可欠です。しかし近年、国からの運営費交付金の減少や光熱水料や物価の高騰などにより、大学における教育・研究の質を保つことが難しくなっています。岐阜大学医学部(医学系研究科)がさらなる発展と成長を遂げ、未来の医療・医学研究のリーダーを育てていくためのお力添えとなるご支援を賜りますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。



医学部附属病院創立150周年へのご支援のお願い 岐阜大学医学部附属病院長 秋山 治彦

1875年(明治8年)8月に岐阜県厚見郡今泉村本願寺出張所(現岐阜市西野町西本願寺別院)に岐阜県公立病院として開設されました岐阜大学医学部附属病院は、2025年(令和7年)に創立150周年を迎えます。これまで多くの医療人を輩出し、国内外で活躍されておられます。当院は、あなたとの対話が創る信頼と安心の病院を理念とし、1.患者中心のチーム医療を提供します、2.人間性豊かな医療人を育成します、3.先進医療の研究・開発・提供を実践します、4.地域との医療連携を強化します、の4つの基本方針の下に、高度急性期医療の提供、教育・国際化の推進、新規医療技術開発、働き方改革、経営基盤の確立を社会と医療のニーズに答える病院づくりをブランドデザインとしております。日本社会のSociety5.0への発展のもと、当院も手術棟にダヴィンチをはじめとする手術ロボットやスマートオペレーションシアターの整備、外来におけるスマート決済やiPadでの問診登録、自走AIロボットによる物品搬送などスマートホスピタルへの進化が進められています。今後はAIをはじめとする最先端技術を導入し、質の高い医療を継続的に提供できる病院、働いてよかった・受診してよかった病院、次世代を担う優秀な医療人・医学者を育成する病院を目指してまいります。この度、創立150周年を迎えるにあたり、さらに50年後、100年後の岐阜大学医学部附属病院が、岐阜の人々の命を守り、理念と基本指針のもと医学・医療の発展に寄与する国立の大学病院として努力し決意してまいります。創立記念事業の本趣意書にご賛同いただき、格別のご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。



岐阜大学医学部・附属病院記念事業へのご支援のお願い 岐阜大学医学部同窓会長 武内 康雄

岐阜大学医学部は1944年(昭和19年)に岐阜県立女子医学専門学校として発足し、2024年(令和6年)に創立80周年を迎えました。附属病院の歴史は、1875年(明治8年)に設立された岐阜県公立病院がはじまりで、2025年(令和7年)には創立150周年を迎えます。この間、医学部(医学系研究科)・附属病院は地域医療に貢献する医療人を育成するとともに、多くの優れた研究成果を世界に向けて発信してきました。岐阜大学医学部同窓会も、医学部(医学系研究科)と共同して、医学部創立30周年・附属病院創立100周年記念事業や医学部創立50周年・附属病院創立120周年記念事業の他、医学部・附属病院の市町地区から柳戸地区への移転を記念した医学部記念会館建設事業などを行ってきました。医学部(医学系研究科)・附属病院のさらなる発展・躍進は同窓会員の祈念するところです。そこで、医学部(医学系研究科)・附属病院と同窓会は共同で、岐阜大学医学部創立80周年・附属病院創立150周年記念事業を行うことになりました。本記念事業では、記念誌の発刊や岐阜大学医学部教育研究基金の充実などの事業を行う予定です。記念事業の基金は、その寄附を特定の部局事業に活用できる「特定事業」として岐阜大学基金内に設立します。工学部や応用生物科学部はこの制度を用いて学部独自の基金を造り、独自の事業を推進しています。医学部(医学系研究科)と同窓会は、この制度を用いて教育・研究環境の改善・充実、医学部(医学系研究科)・附属病院の未来を担う若手人材の育成を、皆様のご支援により、推し進めたいと考えております。趣旨にご賛同いただき、格段のご協力を賜りますことをよろしくごお願い申し上げます。



岐阜大学医学部創立80周年・医学部附属病院創立150周年に伴う基金の創設についてのごお願いとご挨拶

東海国立大学機構 岐阜大学長 (前)岐阜大学医学部附属病院長、(前)消化器外科・小児外科教授 吉田 和弘

この度は、岐阜大学医学部創立80周年、医学部附属病院創立150周年記念を迎えますこと、誠におめでとうございます。岐阜大学医学部同窓の皆様、ステークホルダーの皆様には心からお慶び申し上げます。岐阜大学長として、岐阜大学医学部に所属しておりました職員として大変嬉しく、また誇りに思うところでございます。岐阜大学医学部と岐阜大学医学部附属病院の現在の発展があるのは、これまで医学部と医学部附属病院の基礎を築かれ、それぞれの時代において精一杯発展に向けて尽力されてこられた、諸先輩やステークホルダーの皆さまのおかげであると心から感謝申し上げます。これからの更なる躍進に向けて教職員一同努力する所存でございます。つきましては、周年事業の成功と、今後の岐阜大学医学部および医学部附属病院の益々の発展に向けて、「いのち輝く岐阜」と題した基金創設を行うこととなりました。目的として、①岐阜大学大学院医学系研究科・医学部教育研究基金の充実、②未来に活躍する優秀な医療人・医学者の育成、③岐阜とともに歩む大学病院、④医療DXの導入によるスマートホスピタル化の促進、⑤創立記念事業(記念誌発刊など)を考えております。岐阜大学は、2020年4月に名古屋大学と法人統合し、国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学となり、「地域は世界に通じ、世界は地域に通じる」というコンセプトのもと、「地域活性化の中核拠点であると同時に、強み、特色を有する分野において全国的、国際的な教育研究拠点の形成を目指す」というミッションを掲げ、大きく発展し続けております。一方で、我が国は少子高齢化が進み、新型コロナウイルス感染症の影響によって経済活動の停滞や社会構造の変化、更にはウクライナ情勢や世界規模での物価高騰などの影響により、社会生活は厳しい状況となりました。医療においても、働き方改革、医師の偏在、専門医制度や研究時間の制限など多くの課題を抱えています。このような世界経済の減速リスクがある中で、社会課題を経済成長のエンジンへと押し上げていくためには、科学技術・イノベーションの力で行うことが不可欠となりました。すなわち、これからの岐阜大学の発展こそが、岐阜地域のみならず、東海地域そして我が国の医療の発展につながることは明らかであります。岐阜大学では、次世代を担う優秀な学生や医療従事者の育成・新規医療の開発と実践などさらに力を入れていく所存でございます。同窓生の皆様、ステークホルダーの皆様には本主旨をご理解いただき、岐阜大学医学部創立80周年、医学部附属病院創立150周年に伴う基金「いのち輝く岐阜」へのご支援・ご協力賜りますようお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくごお願い申し上げます。



寄附金の目的

1 岐阜大学大学院医学系研究科・医学部教育研究基金の充実

将来岐阜県の地域医療に貢献する学生に対して、質の高い医学教育を提供するためには、先進的な教育プログラムに加えて、最新の設備と快適な施設環境が必要です。医学教育に関わる最新の設備(現実世界と仮想世界を融合するXRを用いたシミュレーターや、遠隔診療や情報共有に関わるIoT、情報・科学技術を活かす能力を養うためのシステムなど)の導入や施設環境の整備を行います。岐阜大学大学院医学系研究科・医学部の研究者が世界に向かって優れた研究成果を発信するためには、優れた研究環境が必要不可欠です。最新の研究用機器の導入や優れた研究プロジェクトへの支援体制の充実を図ります。

2 未来に活躍する優秀な医療人・医学者の育成

岐阜大学医学部は岐阜県内唯一の医学部として、岐阜を中心とする地域医療に貢献する医師・看護師を多数輩出してきました。また医学系研究科においては、世界的にも評価される先進的な研究を行うとともに、独創性のある研究を自ら推し進め展開することができる医学研究者の育成を行ってきました。これらの人材をこれからも持続的に育成していくためには、金銭的な支援を含めさまざまなサポートの充実が必要です。岐阜大学大学院医学系研究科・医学部の学生への奨学金や学会・講演会への旅費の補助、教育的備品の更新などを通じて、岐阜でも世界でも活躍できる優秀な医療人・医学者の育成を図ります。



3 岐阜とともに歩む大学病院

岐阜大学医学部附属病院は特定機能病院として最高レベルの質の高い医療の開発と提供を行っています。病院の基本理念、あなたとの対話が創る信頼と安心の病院、のもと、ひととの繋がり、まちとの繋がりを大切にしています。病院北側に開設される高速道路のインターチェンジにより更に岐阜県に密着した基幹病院そして救急災害拠点として地域の中核となる病院として貢献を続けます。大学病院では、日々進歩する医療に対して医療施設及び設備の充実を継続し、常に最新の医療環境を提供し、大学病院としての使命を果たしてまいります。

4 医療DXの導入によるスマートホスピタル化の促進

大学病院が先進的な医療サービスを提供し、職員の働きやすさを改善し、より良い患者サービスを提供し、更に岐阜県の地域医療を支えるなど医療の質を向上させるには、医療DXの技術を導入したスマートホスピタル化による革新的な取り組みが必要です。現在、岐阜大学医学部附属病院では、ハイブリッド手術室と手術ロボットの導入、AIロボットの外来及び病棟への導入、iPad問診やスマートフォン決済をはじめとする医療DXが導入されています。今後も最新のロボットやAI搭載医療機器、IoTやICT技術を活用して、ひとと地域との病院が繋がる、よりきめ細かい、そして安心・安全な医療を提供していきます。

5 創立記念事業

- ①記念誌の発刊:医学部創立50周年・附属病院創立120周年を記念して発刊された冊子では、それまでの変遷の詳細が記載されています。それを受け継いでこれまでの30年を振り返り、さらには今後を展望する冊子となります。
- ②創立記念式典:2025年10月26日開催予定
- ③寄附のお願い:募集期間 2024年4月~2026年3月 寄附目標額 2億円
ご厚志に対する謝意:3口以上でのご寄附の方には記念誌を贈呈します。
個人10万円以上、法人団体50万円以上寄附された方、ご希望により銘板を掲示します。また、一定額以上ご寄附された方には感謝状を贈呈します。

1875年

岐阜県公立病院 開設



1944年

岐阜県立 女子医学専門学校 開設



2004年

医学部及び附属病院
柳戸地区に移転・開設



2025年

医学部創立80周年記念
医学部附属病院創立150周年

